

4年生

1. 主題名 相手を思いやる心【親切・思いやり】

2. 教材名 わたしはプリマドンナ

バレエ教室の発表会の主役に選ばれず、悔しくてたまらないミドリ。ところが主役に指名されたトモコは足をねんざしてしまった。ミドリは代役として立候補する。自分のことで精一杯のミドリは、トモコに冷たく接する。しかしトモコは、回転が上手くいかず落ち込んでいるミドリに、笑顔で回転のこつを教えた。練習の帰り道、一緒に帰ることになった二人。足が痛みだしたトモコを、ミドリは自転車に乗せて押して歩いた。トモコに「なんでそんなに親切なの。」と尋ねると、トモコは、「ミドリちゃんも親切。今も自転車を押してくれている。ありがとう。」と答える。その後、足の具合が回復したトモコと、ミドリは、笑顔でお互いをライバルと認め合った。

3. ねらい

相手のことを思いやり、進んで親切にしようとする道徳的心情を養う。

4. 授業の様子

教材の動画を視聴した後、ミドリの心情に焦点を当てて話し合った。けがをしてしまったトモコに対するミドリの気持ちを尋ねると、「優しくした方がいいかな。」という思いがある一方で、「ライバルなんだから親切にすることない。」という気持ちも出てきた。また、トモコに「ありがとう。」と言われたときのミドリの気持ちについてワークシートでじっくりと考えた。「自分のことで精一杯だった。今までの自分を反省した。」「私は冷たくしていたのにどうして親切にしてくれるの。」「トモコみたいになりたい。」などの意見が出た。トモコの親切な行動に心を動かされた、ミドリの気持ちをよく感じていた。



5. 授業後の感想（児童のノートより抜粋）

- ・これからは、相手の思いを考えて、自分だけでなく周りも気にできるようになりたい。
- ・今まで親切にしてもらった分、自分もお返しをしたいと思った。
- ・お話と同じようなことが自分にもあって、その時は優しくできなかった。その子はそのときみしかったのではないと思う。その子の気持ちになって考えることで、親切にできると感じた。

6. 今後の思いやりについての指導

4年生は、男女関係なく楽しく遊べる児童が多い学年である。友達に対しても優しくしたり、親切にしたりできる児童が多い。また、4年生という発達段階では、子供同士のつながりが強くなってきている。しかし、少し距離のある友達に対しては、仲の良い友達に比べて関心が薄くなりがちである。誰に対しても親切にしようとする事ができるように、授業内での関わりや、学級会、集会などを通して、周りの友達に関心をもったり、相手を認めたりする力を養いたい。